

01月度 <b>例会</b> 個人 山行報告書		報告者	竹内	参加者 CL: 塚本英吾、SL: 岡田晋、青木久、 浜島弘一、白井義道、油井武、三矢十三世、深 津博也、佐溝直彦、不破孝浩、青山武、青 柳樺代、渡辺幸夫、福井正信、渡辺勝利、塚本 洋子、渡辺育子、竹内幹雄、岡田吉枝、津田廣 一、上田正博、牧野勤	
山城		滋賀県多賀町	報告日		01/28
山名		青龍山	山行日		12年 01月 05日 (木) ~ **年 **月 **日 (*)

山行目的	干支登山	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
総会参加数	
山行: 1	
リーダー	
原紙:	
会事務局	

ルート図 (地図を見て正確に)

1/2.5 万地形図: 高宮

1/5 雪のち曇り
7:00 刈谷発
8:30 員弁 (トイレ休憩)
10:20 甲良 (トイレ休憩)
11:03 胡宮神社 P
11:29 分岐
11:43 青龍山頂上
12:15 下山開始
12:40 胡宮神社 P
13:00 多賀大社 (参拝)
14:00 クレフィール湖東 (食事・入浴)
18:35 刈谷着

〈山行報告〉 早朝7時、刈谷を出発。湾岸道路を走り名古屋市を通過する頃より雪が降り出してきた。湾岸桑名 I・C から R421 に入り桑名市内で雪の為、交通渋滞に巻き込まれる。そして、石榑トンネルを抜けると辺りは銀世界である。雪に埋まった道路を慎重にバスは進み、予定していた時間を2時間ほど遅れながらも登山口のある胡宮神社に到着、小雪が舞う中で登山の準備をする。登山口にある神社で参拝、無事を祈り出発する。登山道は雪に埋まりその積もった雪を踏みしめながらゆっくりと歩いていく。岡田 SL を先頭に先発隊が出発、少し離れて後発隊が足跡を踏みながら追いかけて行く。なかなか先頭に追い付けないので無線で連絡、現在地の確認を取り少し待ってもらい合流して再出発。途中、名神高速道路が眼下に見えたが交通量は少なめである。やがて分岐に到着、ここまで来れば頂上はもう少しである、雪が舞っている中をさらに進む。雪の中ではあるが、寒さをあまり感じない。体が寒さに慣れてきたのであろうか、久々の雪山登山ができて何故かうれしい気分になってきた。そして、最後の急坂を登りきると「青龍山」頂上に到着である。頂上はあいにくの天気で景色は見る事ができないが総勢2名の登頂の喜びで賑やかである。雪が舞っているので、のんびりはできないが、下から持ち上げたお酒やワインで祝杯をあげ、冷えた体に温かいコーヒーを飲み頂上でのひと時を過ごした。そして点呼を取り全員揃っていることを確認、下山を開始する。雪道を転ばぬように慎重に下る。当初

の予定では分岐から磐座方面に回るコースだったが慣れない雪道を下るなら登ってきた道をそのまま下りたほうが安全と考え登ってきた道を下山した。慎重に雪道を歩き無事に登山口の胡宮神社に到着。バスに乗り込み多賀大社に参拝、道の駅でお土産を買い、予約していた「クレフィール湖東」で食事と入浴をして恒例の「干支登山」を終了、帰りの道路は彦根 I・C から名神高速、名古屋高速を走り刈谷へと向かいました。



雪の中を進む2名のメンバー

〈リーダー所見〉 恒例になりました干支山登山、今年は雪の舞う中を登らせて頂くことができました。おかげで雪山気分を楽しみながら無事登頂することができ、コースタイムも程良い時間で無理なく登れたかと思えます。下山後は多賀大社の参拝、食事会と温泉入浴でくつろいでもらいながら新年の行事を皆さんに楽しんでもらうことができ、とてもよかったですと思います。

確認 (リーダー)	塚
	12/01/28
	本
作成 (報告者)	竹
	12/01/28
	内